

2026年3月期 第2四半期決算説明会 主なQ&A

【今期決算・通期予想】

- Q. 万博閉幕後、鉄道やホテルのご利用状況の変化はあるか。
- A. 鉄道のご利用状況については、昨年第3四半期は2019年同期水準のご利用実績であったが、足元では昨年水準を上回り好調なご利用状況が継続。
ホテルのご利用状況については、科学的根拠の無い地震の予言による影響によって、夏場の一時的な需要減があったものの、その後は堅調なご利用が続いている。好調なご利用を維持できるよう努めていく。

【次期中期経営計画】

- Q. ライフデザイン分野への投資や株主還元の考え方は。
- A. 将来の成長に繋がる投資、社会課題解決につながる投資に引き続き取り組んでいきたいと考えている。また、還元方針についても重要な事項として検討しているところである。

【運賃改定】

- Q. 総括原価方式での運賃改定は。
- A. 今後の投資や設備更新により運賃改定を行う時期もいずれ来るという認識。一方で、持続可能な経営を実施していくためには、現行制度が十分だと考えておらず、新幹線自由席特急券の届出化も含めて引き続き関係箇所強く働きかけをしていく。

【整備新幹線】

- Q. 整備新幹線の貸付の在り方について意見は。
- A. 30年以降の経済状況・修繕状況の見通しが難しいことを踏まえると、現在の30年が妥当だと考えている。今後、関係箇所とのヒアリングの場で、当社としての意見を述べていきたい。

【政権交代】

- Q. 政権交代に伴う事業環境の変化はあるか。
- A. 新たな政権は経済対策を強く打ち出しているため、日本経済への好影響を期待している。また、大阪の副首都構想が実現されれば関西・大阪のプレゼンスがさらに高まり、当社の果たすべき役割もより重要なものになってくると考えている。

以上